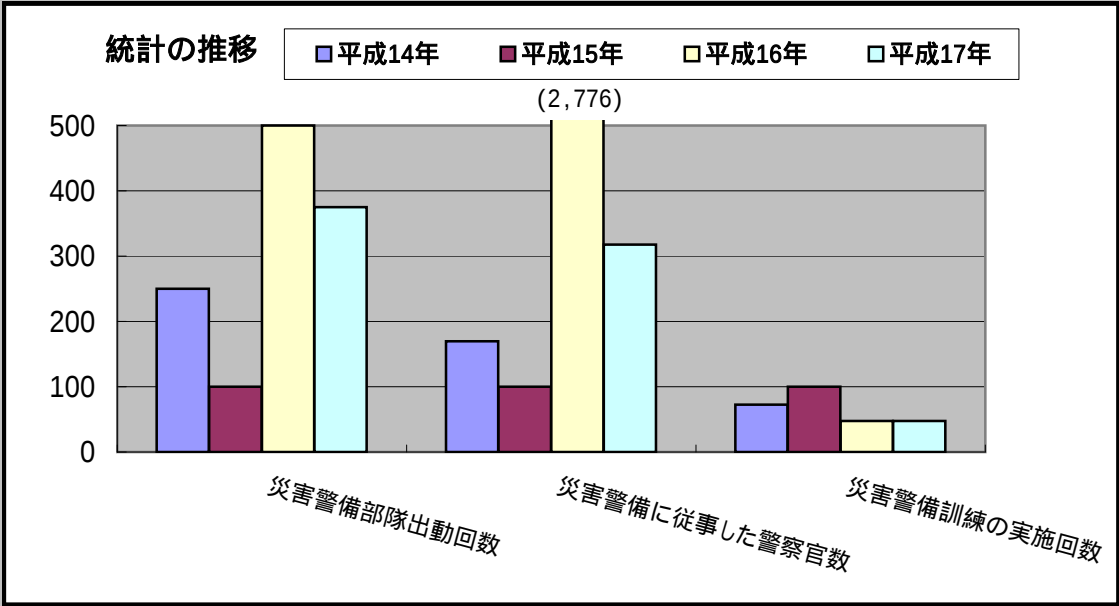


【所属】	警備第二課	【コード№】	90
------	-------	--------	----

業務名	防災対策の推進
-----	---------

○業務に関する統計

項 目	統 計 の 推 移				
災害警備部隊出動回数	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	単位
	10	4	20	15	回
災害警備に従事した警察官数	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	単位
	628	370	10,273	1,175	人
災害警備訓練の実施回数	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	単位
	29	40	19	19	回
	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	単位



< グラフは、平成15年を100とする指数で表した。 >

○業務の主なコスト

№	事 業 名	平成17年度事業費(千円)	平成18年度事業費(千円)
1	災害警備対策費	43,986	76,407
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
合 計		43,986	76,407

○平成 17 年の取組み

- 大雨や台風14号等の影響により、負傷者 2 名の人的被害や床上浸水、崖崩れ等による建物被害が発生したが、気象警報の発令や被害の発生状況に応じて警察本部及び各警察署に災害警備本部を設置し、それぞれ必要な災害警備活動を実施した。
- 「熊野地域における突発大規模事案の共同処理に関する協定に基づく初動措置訓練」（三重県警察、奈良県警察、和歌山県警察）、「三重県警察大震災総合警備訓練」（警察本部及び警察署）を実施したほか、「三重県総合防災訓練」、「各市町村防災訓練」等の関係機関が実施する防災訓練に積極的に参加するなど、相互の連携強化を図った。
- 災害時における警察活動の拠点となる警察施設の耐震化工事（大台・紀宝警察署）を行うとともに、災害現場に必要な装備資機材等の整備・充実を図った。

○課題と平成 18 年の取組み

- これまでの災害対応を踏まえて、防災関係機関との一層の連携を図り、有機的な災害警備活動を実施するなど、各種防災対策の推進強化に努める。
- 災害時における警察活動の拠点となる警察署の耐震化を推進するとともに、レスキューフォース 等装備資機材の整備・充実など、防災体制の整備強化を図る。
- 災害現場における救出救助能力等向上のため、「中部管区警察局広域緊急援助隊合同訓練」「三重県警察総合防災訓練」等の実戦的な訓練を実施し、災害警備活動の充実強化を図る。

「レスキューフォース」とは、自動車事故、列車事故等発生時に、「閉じ込められている人」、「身動き出来ない人」等を迅速に救助できる電気等の動力源が不要な救出用資機材で、穴を開ける・切る・曲げる・支える等救助に必要な機能が一つにまとめられたアルミ製の救助器具をいう。